サクラの花言葉・・・「精神の美」「優美な女性」♪

コットンテール通信

野うさぎ

COTTONTAIL

2019年 3月号 Vol.132

cottontail.jimu@laboside.com
http://www.cottontail.co.jp

発行責任者 奥村英世

過日、弊社の取引いただく歯科医院のスタッフの方の、以下のようなやりとりを耳に致しました。

Aさん「この模型見てください！細い歯なのに気泡を入れずに石膏を流せました！」

Bさん「すごい！どうやって流したの？」

Aさん「いつもより水の量を多めにして、流しやすくしました！」

確かに水を多めにし、石膏を柔らかくしてしまえば流しやすくなると思います。
しかし、硬化した石膏模型にどのような影響があるでしょうか？
硬化した模型は水の量を多くすることにより
① 模型表面が粗くなる　② 模型が脆くなる　③ 鋭利な箇所が丸くなる など、口腔内の再現性は低下します。このような模型で作成される補てつ物（技工物）は、口腔内において不適合や調整量の多い補てつ物になってしまうリスクが高まります。
少し面倒に思われるかもしれませんが、混水量（石膏100gを練る水の量）を守ることにより、寸法精度を高める（再現性が向上）ことができるばかりか石膏の節約にも繋がります。
また、どなたが流しても同じ質の石膏を流すことができ、模型の寸法変化を可及的に低減させることができます。

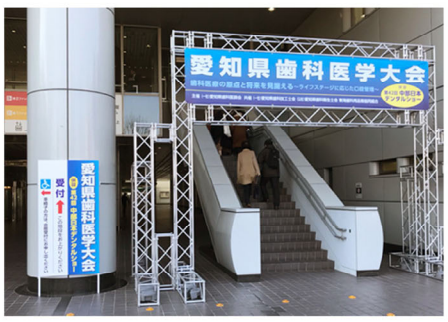
【流し方】

基本は印象面の端部から一方向に石膏を流します。支台歯のある印象では、支台歯に気泡が入らない（慎重に少量ずつ、印象面に沿わすようにして流す）ように先に流し、その後に印象面の端部から一方向に流していきます。
※　印象面についた水や血液が混ざってしまうと模型の寸法精度を低下させてしまいます。水分は弱めのエアーなどで飛ばしてください。

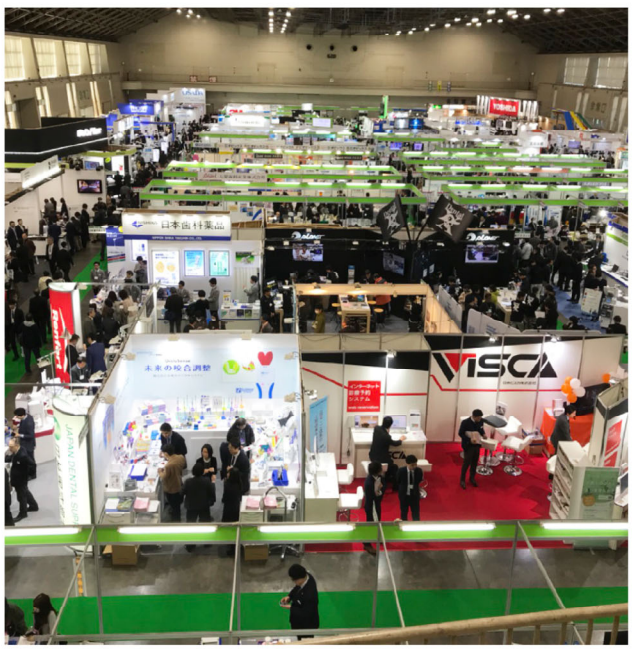
【ワンポイントアドバイス】

硬化した模型がうまく外せずに困られている状況をお見かけします。無理に外そうとすると模型が破損してしまう可能性があります。石膏には適正な硬化時間（石膏の袋などに記載）がありますので、硬化時間が過ぎましたら、印象材が乾燥しないうちに外すことをお奨めします。

（名古屋事業所　植西）



◆ 第42回中部デンタルショー ◆



今年もデンタルショーに行って参りました。
昨年はCADCAMシステムをメインにしたデジタル機器がクローズアップされていましたので、今年はどう変わってきているのか期待して行きましたが、あまり進展のない、少し物足りない状況でした。しかし、口腔内スキャナーにはメーカーも力が入り、更にデジタル化の波を感じることができました。
（一社）愛知県歯科技工士会ブースで当社の紹介を少しだけさせていただきました。
お立ち寄りいただきました先生方、どうもありがとうございました。

（名古屋事業所　植西）

コットンテール通信編集部